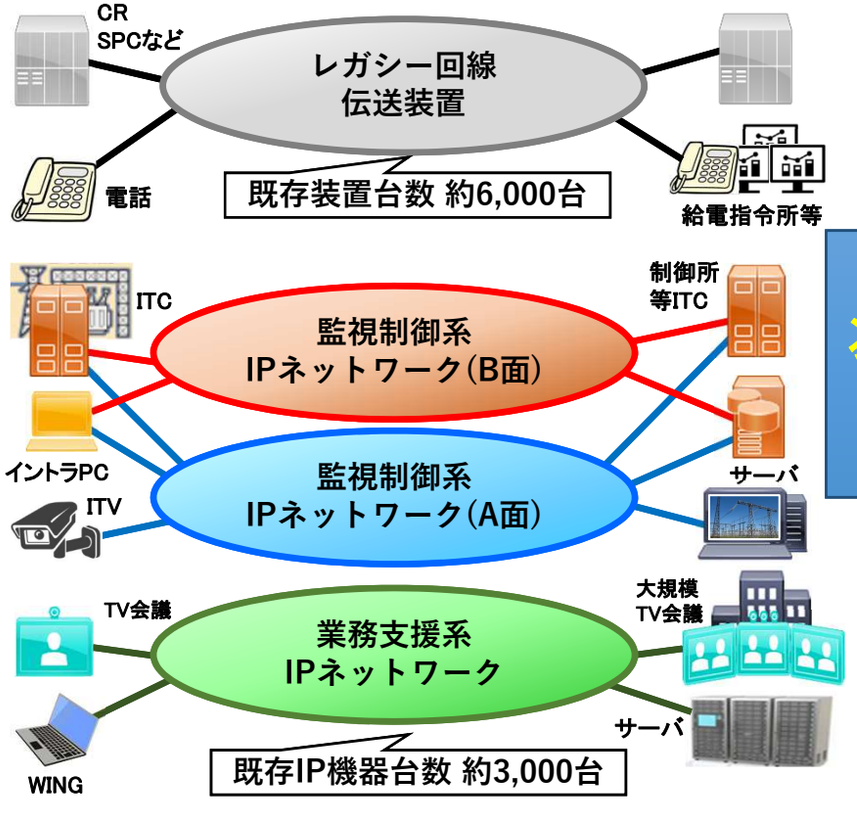
次期通信ネットワーク構築に伴う効率化について

- 「レガシー回線伝送装置の販売終息」および「社内デジタル化ニーズ」に柔軟に対応した更新計画の立案
- ネットワーク全体を最適化する長期整備計画を策定し，大幅なコストダウンを実現
- 半導体不足による納入遅延リスクのある中で，当初スケジュールを維持した構築計画の推進

現在(22Fy)のNW構成

主な収容回線

- 電力系統保護用
  - 送電線保護リレー(CR)
- 電力運用/管理用
  - 給電電話
  - 保安電話
  - 給電用遠隔監視制御
  - 各部門イントラ
  - 電気所監視カメラ
- 業務支援用
  - テレビ会議
  - WING



次期NW

主な改善策

1. *ネットワークシンプル化*
   - 通信規格の世界標準となるIPNWをベースとした構成
   - 移行可能なレガシー回線をIPNWへ収容
2. *ネットワークスリム化*
   - IPNWを3面から2面へ削減
   - 置局見直しで台数削減
   - レガシー伝送装置の削減
3. *高速・広帯域化*
   - デジタル化ニーズに対応した回線速度向上（2G⇒10G，100M⇒1Gbps）
4. *レジリエンス強化*
   - レガシー回線のIPNW収容により冗長構成可能
5. *大幅なコスト削減*
   - シンプル化・スリム化によりNWコストの低減を実現

完全移行後(28Fy)の次期NW構成

